

6月26日の部分月食を見よう

6月26日(土)の夜、富山県内では1月1日の夜明け前の月食以来、半年ぶりに月食を見ることができます。今回は月のおよそ半分ほどが欠ける月食です。さらに、今年の12月21日(火)夕方から夜にも月食が見られます。今年には1年間に3回も月食が見ることができる非常に珍しい年です。

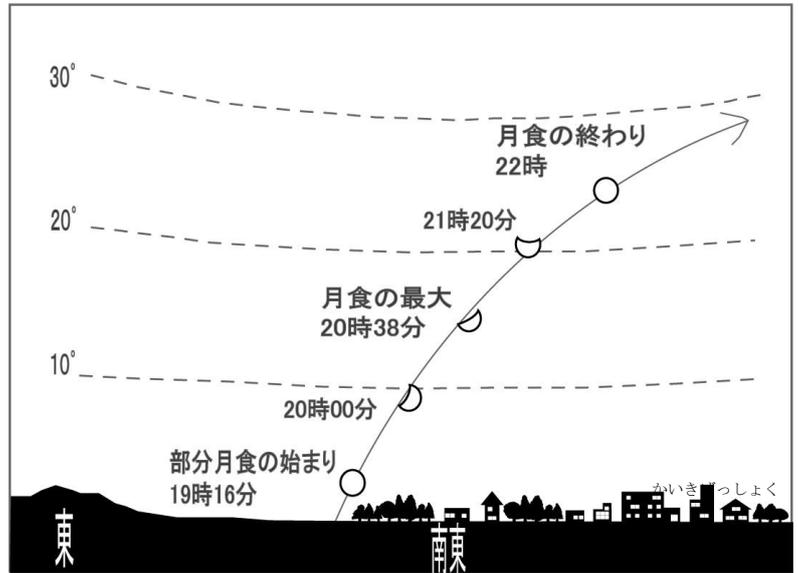
月食は地球の影の中を月が通り、月の姿を隠し、暗くなる現象です。みかけ上、地球の影は月の3倍ほどの大きさ

ですから、月が完全にかくれることがあります。そのような月食を皆既月食といいます。12月21日の月食は皆既月食です。今回は完全に隠れないので、部分月食といいます。

月食は目で観察できます。月の暗い部分は見えなくなるのではなく、赤銅色にうっすらと見えます。ですから、20時30分頃には半分は明るく輝く月、半分は赤銅色に見える月が同時に見え、幻想的な姿となります。これは地球に空気があるので、太陽の光が地球の影にまわりこんで、月を少し照らすからです。このころが一番の見ごろになります。ただし、今年にはアイスランドで火山が噴火したので、地球の上空に火山のちりがたくさんあるかもしれません。そうすると、地球の影が暗くなり、月食の時の影も暗くなるかもしれません。注目したいところです。

月食は双眼鏡、望遠鏡を使うとよりくわしく観察できます。月の暗い部分と明るい部分は、はっきり分かれるのではなく、徐々に暗くなるように見え、月の暗い部分がうっすらと明るく見える様子がよくわかります。また、普通はクレーターが見えるのですが、月食のときは残念ながら、クレーターはほとんど見ることができません。

富山市天文台では観測会を行い(19:30~21:30)、インターネットでも中継をする予定です。ご参加をお待ちしています(問合せ先電話番号:076-434-9098)。



月食の進行の様子 : 1986年10月撮影

(2010年5月渡辺誠)